

保育だより

2022年 12月号

社会福祉法人いずみ会

幼保連携型認定こども園

つるた乳幼児園

園長 福澤 紀子

北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2

電話 0173 (22) 3765

本物の愛

保育教諭 成田 広野

2022年度の教育・保育がスタートし、早いもので半年以上が過ぎました。

冬が近づいてきている園庭で、かくれんぼやドッチボールをしたり、落葉やダイヤモンド集めを楽しんだりしている子ども達。私も子ども達と一緒にお化け屋敷ごっこやプリンセスごっこをしたり、赤い屋根のお家で会話を楽しんだりしながら、子どもが今、興味を持っている事や物を知ること、理解することにもつながっています。そして、子どもとの信頼関係が深まっているなぁと感じています。子ども達は楽しく遊んでいるときもあれば、「いっしょにあそんでくれない…」と話したり、お互いの気持ちに折り合いをつけることが難しかったりし、悲しい気持ちになる時もあります。そんな時、泣いている友達に「どうしたの？」と声を掛ける3歳児。泣いている友達の隣に寄り添う5歳児。どんなに小さくても隣にいる友達(となりびと)のことを考え行動する姿、そこに心の成長を感じます。

12月はクリスマスの月です。世の中の貧しい人、悲しんでいる人、小さなもの、弱いものを救うために神様が神の子としてイエス様をこの世にお送り下さった喜びの日です。

今年も自然の恐ろしさを間近で感じたり、国同士の争いが起こったりする日々の中で、心が悲しくなったり、心身共に疲れが出てきたりしている人もいます。このような状況ではあるものの、今、この時代に生ま

れ生きていることに喜びを感じ、人と人とのつながりやいのちの大切さに感謝し希望をもって過ごしていきたいものです。そして私自身、私の周りにいる人たち(となりびと)が、楽しい嬉しいと感じている時だけではなく、不安で悲しいと感じている時も、愛をもって寄り添うことができる人になりたいと思っています。

見守ることの愛、隣で寄り添うことの愛、声を掛けることの愛…。そして、時には必要な愛をもった厳しさ…。いろいろな愛の形があるがどれも大切なもの。私達大人が目に見える形で子ども達に本物の愛を伝えていきたいと思います。

子ども、保護者、地域の方々、職員、みんなでお本物の愛やとなりびとのことについて考えながら、この12月を過ごし、あたたかい気持ちでイエス様のお誕生日をお祝いしたいと思います。

イエスさま おたんじょう おめでとう



◆ 報 告 ◆

◎第4回保育学校 11月2日(水)
42名の参加でした。

◎作品展 10月26日(水)～11月4日(金)
にじのホールに子どもたちの作品を展示致しました。ご家族の方には、保育学校時、午前予約をしていただいた方、またお迎え時に密にならないように見ていただきました。

◆ 行 事 ◆

◎クリスマスページェント公開日 9時15分より
12月14日(水) ひばり、かなりや保護者
12月15日(木) すみれ、うぐいす保護者
※いずれの日も家族2名でお願い致します。

◎クリスマス子ども会 12月23日(金)
※今年も子どもたちのみで行います。

◎冬期特別保育 12月24日(土)～1月15日(日)
家族のスキンシップを第一に考え、お仕事がお休みの時は十分にふれあいをして下さい。お休みではありません。尚、12月29日(水)～1月3日(土)は休園日です。

◆ 予 告 ◆

◎父母の会・四心会合同新年親睦会
コロナ感染予防のため、行いません。
◎成長を祝う会 3月15日(水)、16日(木)
◎修了式 3月21日(土) かなりや

● 子育て支援センターより ●

◎リフレッシュタイム 12月7日(水)



クリスマス募金のおねがい

12月に入り、子どもたちは、ワクワクしながら、クリスマスの日を待ちます。大きな期待は、クリスマスプレゼントです。「ワクワクするな」「楽しいな」「嬉しいな」と感じると同時に、「となり人のことを考えよう」と、このクリスマス期間、園では、クリスマス集会やページェント(降誕劇)を通して、子どもたちと考えております。クリスマス募金もその1つです。

まだまだ、世界中が混乱しております。自然災害も多くありました。その事を覚え、苦しみ、悲しんでいる人たちのために募金を集めたいと思います。今から、各自子どもたちにご指導下さい。

ご協力よろしく申し上げます。



♪ お買い物ごっこ

